

# 1. 調査報告概要表

## 【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成19年9月13日

### 【評価実施概要】

事業所番号	2774800383
法人名	株式会社 ラポール
事業所名	グループホーム和み庵
所在地	松原市北新町1丁目3-18 (電話) 072-338-7525
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 19年 8月 22日

### 【情報提供票より】(平成 19年 5月 31日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 4月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	11人	常勤	7人, 非常勤 4人, 常勤換算 7人

#### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての	2階 ~	2階部分

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	15,000円	
敷金	有 ( 円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300円	昼食	500円
	夕食	700円	おやつ	0円
	または1日当たり 円			

#### (4) 利用者の概要 (平成 19年 5月 31日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	0名	要介護2	6名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86歳	最低	71歳	最高	94歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	たかいクリニック
---------	----------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営母体の株式会社ラポールが、居宅訪問介護やケアプランセンター等、介護保険事業を展開、駅前立地を活かしグループホームを設立、交通の便が良く家族の訪問が容易です。  
 家庭的な環境のもと、慌てず急がず利用者のテンポに合わせ、穏やかな気持ちで過ごしてもらうという理念で、個々のレベルに応じた毎日の散歩を励行し、地域との交流を図っています。  
 また保育園、小学校、中学校の運動会やお祭りに参加したり、利用者手作りの雑巾を小学校、駅、交番、図書館に配布し喜ばれています。誕生日会には利用者の家族を招待し食事を一緒に摂り、親睦を図っています。毎月「和み庵だより」を発行し生活状況や行事報告等、連絡事項を伝える事で家族の安心感を図っています。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目: 外部4)
	<p>前回指摘があった利用者の情報の記録に関しては、介護計画へ活かせるよう、個人ノートを作成し、細かな事柄や要望を記入することより、介護計画に活かせる工夫をしています。毎日の申し送りに対しても閲覧済みの印、サインを行い、情報の共有に努めています。                  食事状況の把握については、全職員が把握しています。                  今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)</p> <p>自己評価は管理者が作成しています。管理者や計画作成担当者の異動はなく、全体を把握しているところです。今後はサービス評価の意義や目的を職員間で共有するため、全職員で取り組むことが求められます。                  外部評価の改善点については定例会議で意欲的に取り組んでいます。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)</p> <p>行事の実施状況の報告や、ホームでの一日の流れを報告しています。地域の一員として老人会の入会については検討中ですが、現在老人会からの意向を伺っているところです。また認知症の対応についての相談や福祉用具についての質問があり、地域の相談に応じる取り組みも始めています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)</p> <p>玄関脇に苦情箱を設置しています。家族の来訪時には職員が声かけをして、家族の苦情や意見、希望を聞くようにしています。誕生日会には家族を招いて、ゆっくりと話を聞く機会を設けています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)</p> <p>散歩は神社、保育園、スーパーマーケットにほぼ毎日出かけており、挨拶を交わしています。近隣に老人会の役員さんがいて、柿が実ったらホームまで届けてもらったり、カラオケ店を1日貸してもらって大声で歌ったりしています。地域の祭りへは浴衣を着て参加し、夜店を楽しんでいます。</p>

## 2. 調査報告書

(   部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は事業所独自で作られています。 ① 家庭的な環境の下慌てず急がず利用者のテンポに合わせて穏やかな気持ちで過ごそう。 ② お互いの意見を認め合い、相手の存在を敬う。 ③ 和気あいあいと過ごせるよう、自発的な活動を引き出そう。 の3点になっていますが、今後は理念の中で地域密着型サービスとして何が大切かを考えた上で作られることが望まれます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所の玄関に理念を掲示しています。 職員の採用時や日々の業務の中で、管理者が方針・目標について日常的に伝えています。 今後、理念や方針を利用者や家族にわかりやすい方法で伝える工夫が望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○ <b>地域とのつきあい</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地域との交流を図るために、老人会への入会を検討しています。利用者は、近隣への散歩やホーム前のベンチで夕涼みをしながら、地域の方と挨拶を交わしています。また、近隣の小学生がホームへ気軽に訪問し、玄関には「子ども110番」の看板を掲げて地域に貢献しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ <b>評価の意義の理解と活用</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価については職員に報告し、具体的な検討をして取り組んでいます。しかし自己評価については、法人代表者と管理者で取り組んでいます。	○	サービス評価の意義や目的を職員間で共有し、自己評価を計画的・継続的に取り組まれることが求められます。
5	8	○ <b>運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の規定、規約を作成しています。また会議録で出席者が確認でき、会議で得た意見をサービス向上に活かせるように努め、事業所の取り組みの内容や改善課題を話し合っています。		
6	9	○ <b>市町村との連携</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは連絡を取り合い、相談ができる担当者も確保しています。市の高齢介護室より、運営推進会議のメンバーとして参加もしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回「和み庵だより」を発行し、生活状況、訪問医、訪問歯科医の報告、及び連絡事項や行事の案内を伝えています。また、家族が訪問される際には近況を伝えると共に、金銭管理についても出納帳を明示し確認後にはサインも得ています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関脇に意見箱を設置しています。また、自由に意見を言える雰囲気作りを心がけています。誕生日会には家族を招待して交流しています。その時にはゆっくりとお話を聞き、意見を運営に反映させています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は最小限に抑えるように努めています。新しい職員が入る時は業務マニュアルを作成してスムーズになじめるように工夫しています。 職員の異動時には「おたより」や、家族の訪問時に報告しています。認知症の利用者にとってなじみの関係は大切なことで、今後とも異動を最小限にすることが期待されます。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、内部研修ともに参加する機会を設けています。年間のおおよその計画も立てられており、どの職員も参加できるように配慮しています。新人研修については、マニュアルを作成し活用しています。また、研修報告書の提出もあります。しかし、伝達研修についての記載がありませんでした。	○	外部研修、内部研修後は全職員に研修内容が伝わるよう伝達研修を開催し、内容を共有することが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者、職員が同業者と交流する機会は、系列の事業所とは交流勉強会を設けていますが、外のグループホーム等との交流が図れる機会を持つことが望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には気軽に見学してもらうことにしています。昼間の体験入所も3日間設けています。利用者が入居後落ち着かれるまでは、家族への連絡は密にとり、安心が得られるような取り組みを行っています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理、縫い物、配膳、食事の片付け、それぞれできる方と一緒に会話を楽しみながら、利用者の思い、不安、喜びなどを共有し、また得意なことなどを教わったりしています。散歩中に、近隣の家から柿をいただくことがあり、お礼に利用者自身が縫った雑巾をお礼に持って行き、喜ばれています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや暮らし方、希望や意向について、専用記録ノートを作成して把握に努めています。 利用者からの情報収集が困難な場合は、家族に伺って情報を得ています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎日午後からミーティングを開催しています。また、月1回の全体会議には職員も参加し、意見を出し合っています。 作成した介護計画については家族の意見も傾聴して作成し、同意サインを得ています。 最近、計画作成担当者が代わりセンター方式に変更中です。	○	今後、介護計画のケア実施記録の方法について検討することが求められます。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは家族、利用者の要望を取り入れつつ、期間が終了したら見直し検討しています。また、利用者に変化のある場合は、その都度介護計画の見直しを行っています。しかし、モニタリングが行われたという記録の確認ができませんでした。	○	アセスメント記録、カンファレンス記録、見直しされた介護計画書はありますが、モニタリングも記録に残すことが求められます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	38	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	嚥下困難になった方の食事はどのようにすれば良いのか、また福祉用具のシルバーカーの購入方法等、地域の方が困っていることについて相談に応じています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療との連携は同系列の往診医、訪問歯科、訪問看護を利用する事により、365日24時間緊急対応ができています。 受診の結果についても、緊急時はその都度報告しています。毎月のお便りでも家族に報告しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や、終末期のあり方については、できるだけ早い時期から家族や医師と話し合いを行っています。今までは系列のホームにて支援を受けていますが、できるだけ利用者や家族の意向にそえるよう検討を重ねています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングの折に利用者のプライバシーについて意識の向上を図るように、また日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。職員は利用者の誇りやプライバシーに対し注意を払っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重し、急かすことなく支援しています。事業所の日課はありますが、利用者の希望に合わせて支援し、見守ることにしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は毎日調理担当職員が買い物に行っています。足りない物がある場合には利用者も同行し買い物に出かけています。食事作りについては、豆の筋取りや野菜の皮むきなどを一緒にしています。味付けも一緒に楽しんでいて、旬の野菜を中心の献立にして、食事が一番楽しみとの声も聞かれます。盛り付けにも工夫があり、職員も支援しながら一緒に食べています。後片付けも利用者と職員が一緒に行っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については曜日や時間が決まっていますが、入浴拒否等がある場合には曜日を変更するなどして、希望の添った入浴ができるよう支援しています。浴室の手すりについては、今後安全に配慮し、手すりの設置を増やすことで安心して入浴していただける予定となっています。	○	現在、入浴回数については週2回となっているため、週3回以上の入浴支援が求められます。



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	花の手入れの好きな方は水やりを、仕立て屋さんだった方には雑巾を縫ってもらって近所に配る、自室にお仏壇がある方には毎日お仏壇の水替えをされる等、見守りながら生き生きと楽しめるように支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望者は毎日散歩に神社や近隣の公園へ出かけ、少し涼しくなったら距離を伸ばそうと話合っています。 ホーム玄関前のベンチへは夕涼みを兼ねて出しています。また、みんなで浴衣を着て夜店を楽しむ予定もあります。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	2階がリビングになっていて、職員の日も届きますが、玄関のある1階は誰もいない時間があるので、用心のため外からは入れないようにしています。見守り体勢の不十分な時間帯は鍵をかけていますが、内鍵で利用者は開けることができます。身体拘束11項目に該当する事例はみられませんでした。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回以上の避難訓練に取り組み、そのうちの1回は消防署の協力を得て行っています。非常口はいつでも開けられる状態になっています。しかし災害に備えての食料や飲料水等の準備は少量となっています。	○	災害発生の備えとして食料や飲料水等、備蓄することが求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食材摂取量や水分摂取量は把握しています。旬のものや野菜を中心に取り入れて配慮していますが、専門家の意見が聞き取れていない状況です。水分が不足しがちな利用者の水分摂取量記録がありませんでした。	○	管理栄養士等専門家によるカロリー計算をしてもらうことが求められます。また水分が不足しがちな利用者については、チェックを行い、記録をつけることが求められます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、トイレ、浴室、エレベーター等はバリアフリーになっており、車椅子やシルバーカーが使用できるように工夫しています。リビングの中には和室があり、冬はホットカーペットを敷いてくつろげるようになっています。ホームからは駅が見えますが、音も静かで暮らしやすい環境です。手作りのカレンダーやくつろげる椅子が随所にありました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	<b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には備え付けのタンス、ベッドがあり、各家庭から仏壇や鏡台を持ち込み、思い出となる様々な写真を額に収めて楽しむ利用者もいます。利用者一人ひとりが居心地よく過ごせるように工夫しています。		